



調査区の中で最も高い地点の調査前の状況（左の写真）と土の堆積状況を観察するための溝を掘っている様子（右の写真）。

ふるさと立科の歴史文化を知る機会として、8月5日（火）に、遺跡発掘現場見学会を開催しました。講師の長野県埋蔵文化財センター職員の方から発掘調査の説明を受け、表土剥ぎをした土の中から見つかった中世の生活道

具の内耳鍋やおろし皿を見せてもらいました。また、発掘調査の体験もさせてもらい、わずかな時間の中で土器片を見つけた人もいて、自分で見つけられたことに大変驚いていました。



8月5日の発掘現場見学会の様子。発掘調査の体験にもチャレンジしました。



左の写真は、発掘調査で見つかった遺物です。  
**内耳鍋**……底が広く、火に掛け吊す際に弦が焼け  
 けないように内側に耳がつけられて  
 います。  
**おろし皿**…皿の見込み部分に格子状のおろし目  
 を入れてある。調理用の道具。